

市政に対する

一般質問

一般質問は、3月19日・21日・25日の3日間にわたり、13人の議員が活発な論戦を展開しました。  
※質問・答弁とも質問者が要約しました。

江戸川なごみ堤に  
桜つつみモデル事業で  
新たな観光資源創設を

互 金次郎

(問) 現在、江戸川堤防強化対策事業(なごみ堤)として堤防の拡幅整備が進んでいます。また、鍋小路地区には、普段は市民が河川に親しめる場所として活用できる防災ステーション整備事業が予定されています。  
国の「桜つつみモデル事業」は、堤防の強化を図りつつ、桜などを植樹して積極的に良好な水辺空間を形成することを目的としています。観光協会と連携を図りながら、なごみ堤の桜つつみ、防災ステーション、地元

整備を目指し新たな観光資源の創設を図っては。

(答)市長 平成18年度に商工農業若手ワーキンググループから、なごみ堤を利用した桜並木などの提案をいただいています。

なごみ堤近隣地域は基本構想ではレクリエーションの拠点に位置付けられ、また防災ステーション建設が予定されています。提案の桜つつみモデル事業などの活用には、前向きに検討します。さらに深井新田、平方新田の旧堤防地域をネットワーク化して観光拠点として多くの人が集えるような構想も研究します。

放課後子ども教室ですべての  
子どもに安全安心な居場所を

(問) 「放課後子ども教室」は、児童保育室とは異なり、すべての子どもを対象に安全・安心な子どもたちの活動拠点を設け地域の方々の参画をいただいで勉強、

スポーツなど様々な交流活動を図る国の事業です。学習機会の提供ができたり、地域の教育力やコミュニティの活性化が期待できる取り組みと考えますが。  
(答)教育長 多くの検討事項や課題があり実施は非常に厳しい状況です。現在実施中の体験活動を活用し吉川独自の方法は考えられないか検討します。

深井新田・平方新田  
にまたがる排水路の  
柵渠整備を

五十嵐恵千子

(問) 延べ約1kmの当該排水路は、農業用排水や、民地約100軒の生活用雑排水を処理する重要な排水路です。素掘の排水路として造られ50年余が経過し、その間整備がされず、これ以上放置すれば、農業への支障、家屋倒壊や財産の損失につながりかねない危険な状態にあります。  
①住民参加で早急な危険箇所の整備を要望します。②住民と協働で排水路沿いの農道を「なごみ堤・桜堤」とリンクする整備計画を作り、農業・観光での地域活性化を提案します。ご見解を。



—深井新田・平方新田排水路—

(答)市長 手法を研究します。

(答)市民生活部長 ①水流の調査と共に口径の小さな横断管の敷

設替えなどの応急措置を計画的に実施し、簡易な補修は「農地水・環境保全向上対策事業」において地域の皆さんと実施する。  
②隣接している「なごみ堤」施設整備と関連付けられるように検討すると共に、地域の活性化につなげられないか研究を進めます。

バス路線の利便性向上と豊かな  
発想で新移動サービス導入を

(問) 新たに「運転免許返納高齢者割引タクシー制度」の導入を。  
(答)市長 事業者を交えた中で検討を進めたい。また、新しい移動サービスは、改正道路交法を踏まえ、地域交通全体との整合性を確保しつつ研究したい。

乳幼児医療費無料化制度の  
さらなる拡充を

(問) 現在の就学前までの給付を「満7歳に達する日の属する月の末日まで」の給付に。

(答)市長 医療費支出の傾向や推移を見守っていきたい。満7歳までの給付は研究します。

新型インフルエンザ  
対策行動計画  
作成について

小野 潔

(問) 昨今マスコミでも多く取り上げられている新型インフルエンザ対策について、平成19年3月、厚生労働省は新型インフルエンザ発生時(フェーズ4以降)に関してガイドラインを発表いたしました。施政方針の重要テーマの1番目に「安全安心のまちづくり」とありますし、市民の生命を守っていくという観点からも大変重要な対策であると考えています。今後、市として新型インフルエンザ対策の行動計画を作成していくお考えはありますか。  
(答)市長 当市においては平成18